

## シンポジウム

### 「コンクリートと木のコラボレーションによる持続可能な住まいと地域住環境の設計」

主催：(社)日本建築学会 近畿支部、(一般社)グリーンコンクリート研究センター

趣旨：

日本建築学会近畿支部とグリーンコンクリート研究センターは、「コンクリートと木のコラボレーションによる持続可能な住まいと地域住環境の設計」に関する設計競技(\*)と連続シンポジウムの事業を計画しております。これらに先駆けたイベントとして本シンポジウムを開催し、持続可能な住まいと地域について、当支部設計・計画部会、住宅部会、環境工学部会、材料施工部会、木造部会の各分野を横断する多様な角度からの検討を進めたいと考えております。

話題提供では、①前近代的な居住空間のしくみが近代の建築・都市計画によってどのように再構築されてきたのかを確認した上で、②現在の居住空間をどのようにとらえ、将来に継承していけばよいのかを提示します。続いて、提示された空間像を実現するための方策や技術の可能性を検討するため、③都市レベルでの環境評価、④環境調和型素材の有効性、⑤伝統構法木造の技術の伝承と変遷についての考察を行います。

ディスカッションでは、以上の知見を基に、持続可能な住まいと地域を実現するためのデザインの新しい枠組みや技術の可能性について幅広い議論を進める予定です。多数の方々の参加をお待ちしております。

なお、当シンポジウムは、「コンクリートと木」の可能性や「持続可能な住まいと地域住環境」について多数の皆様とともに考える機会として企画したものです。シンポジウムへの出席は、設計競技への参加条件ではないことを申し添えます。

(\*) 設計競技につきましては建築雑誌 7月号 129 ページまたは近畿支部ホームページ <http://news-sv.aij.or.jp/kinki/> をご参照ください。

【日時】 2010年10月14日(木) 13:30~17:00

【会場】 [常翔学園 大阪センター](#) 301・302 会議室

(大阪市北区梅田 3-4-5 毎日インテシオ 3階 電話:06-6346-6367)

【内容】

司会 米野史健(大阪市立大学都市研究プラザ 博士研究員)

開会挨拶 中西正人(グリーンコンクリート研究センター 理事長)

趣旨説明 檜谷美恵子(京都府立大学教授、設計競技実行委員会委員長)

話題提供

- ①(設計・計画) 建築・都市の「近代化」が目指したもの 木多道宏(大阪大学 准教授)
- ②(住宅) まちなか戸建の持続可能性 -解体・リサイクル性能向上の必要性- 森本信明(近畿大学 教授)
- ③(環境工学) 持続可能性からみた都市環境の分析について 竹林英樹(神戸大学 准教授)
- ④(材料施工) 環境調和型コンクリートとエコマテリアルの有効利用について 玉井元治(元 近畿大学教授)
- ⑤(木造) 伝統構法木造建物から学ぶコラボレーションの可能性について 斎藤幸雄(広島国際大学 教授)

ディスカッション(コーディネーター:木多道宏)

閉会挨拶 笹村欽也(日本建築学会近畿支部常議員)

【定員】 180名(申込先着順)

【参加費】 無料(ただし、資料代は実費(500円程度)徴収いたします。)

【申込方法】 E-mail または FAX にて、氏名・所属・連絡先 TEL を明記のうえお申込み下さい。

定員を超えた場合はその旨を連絡いたします。

【問合せ・申込先】 日本建築学会近畿支部

E-mail: [aij-kinki@kfd.biglobe.ne.jp](mailto:aij-kinki@kfd.biglobe.ne.jp) TEL: 06-6443-0538 FAX: 06-6443-3144